



## こども園運営等に関する保護者アンケート結果について

令和7年度も、前期・後期の保育・教育アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございました。本年度は、小中一貫した教育を目指し、小学校のアンケートと共通した項目を取り入れております。保護者の皆様と園が思いを共有し、共に歩いていくために、今回の結果をしっかりと振り返り、来年度の保育・教育活動へとつなげてまいります。

今後も園の活動や方針をより分かりやすく発信し、皆様との連携を一層深めていきたいと考えております。

【肯定的回答 単位 %】

1、園の取り組みと保護者の連携について		前期	後期
①	園は保育・教育方針や保育・教育内容を積極的に伝えようとしている。	100	98
②	園だよりやホームページ、活動記録、コドモンなどを通して、園での様子がおおむねわかる。	100	96
③	園はお子さんのことを連絡相談しやすい。	100	100
④	職員は、お子さんが主体的・意欲的に活動できるようによく努力している。	100	98
⑤	園はクラス懇談や保護者支援に取り組んでいる。	96	96
⑥	園は安全を確保し、保育・教育効果を高める環境整備に心がけている。	92	94
⑦	園の職員は、好感が持てる対応をしている。	100	98

\*保護者より「下の子のお世話や、手本となるよう励む姿を本人が話しており、自信に繋がっているようだ」との声をいただきました。チーム保育や異年齢保育における育ちを保護者と共に実感でき、大変嬉しく思います。今後もこの取り組みを大切に継続してまいります。

\*お子様のことを気軽に相談いただけているとのこと、大変嬉しく思います。これからも、保護者の皆様と手を取り合って子育てに向き合えるような、温かいチームを目指していきます。

2、学び続ける力について		前期	後期
①	園活動に必要な持ち物の忘れ物がないように確認や声掛けをしている。	94	91
②	園だよりや、園からのお知らせに目を通してしている。	100	98
③	園で今、どんな体験や活動をしているか知っている。	96	98
④	安心して「やってみよう」と思えるように、お子さんと一緒に遊んだり、絵本の読み聞かせをしている。	92	91
⑤	小学校就学に向けて、子どもの自立・成長を促す関わりを目指して関わっている。	21	83
⑥	子どもが自主的に取り組もうとしていることに対して、積極的に支援している。	100	89

\*幼児期の子育ては日々の生活に追われ、目の前のことで精一杯になりやすい時期です。しかし、この時期の関りが小学校、中学校と子どもたちの将来の学びや意欲の根っこを作ります。家庭と園で手を取り合い、お子さまの成長を支える大切なポイントと一緒に考え、実践していきましょう。

3、関わり合う力について		前期	後期
①	家族があいさつを交わす生活を心がけたり、適切な言葉遣い、公共のマナー等を教えたりしている。	100	94
②	お子さんに良いところを積極的に認め、ほめるようにしている。	100	94
③	お子さんの話をよく聞くなど、コミュニケーションの力がつくように心がけている。	96	84
④	お子さんの思いやりや親切な心が育つよう心がけている。	96	94

\*家庭で「挨拶」「言葉遣い」「公共マナー」を大切にいただき、ありがとうございます。  
 「まだ小さいから」とあきらめるのではなく、幼少期から根気よく伝え続けることが、将来お子様が社会で生き抜く力に直結します。  
 同時に、大人がお子様の「話を聞く」姿勢を大切にすることで、それが自信となり、確かなコミュニケーション能力へとつながっていくはずで

4、ふるさとを愛するところについて		前期	後期
①	私たちの住んでいる町のこと（自然、文化、産業、人）を知り、大切に思う保育・教育をすすめてほしい。	96	94
②	園はふるさと学習（ふるさとを好きになる学習）を地域の人と関わりながら推進している。	87	90
③	家族で町のことを話したり、町の良さを伝えたりしている。	66	59
④	子どもと一緒に地域の行事に参加している。	75	70

\*「星が見える!」「今日は満月!」と、子どもたちが自然と触れ合い心を豊かにする姿を見て、日南町の自然の素晴らしさを再確認されている保護者も多いようです。また、CS サポーターさんとの交流を通じ、地域全体で子どもを育む良さについても深くご理解いただいております。これからも、地域の中で豊かに育つ子どもたちの様子を積極的にお伝えしていきます。ぜひ、ご家庭でも「日南町のいいところ」を話題にしてみてください。

5、家庭での生活について		前期	後期
①	早寝早起きなどの家庭生活のリズムがつくようにしている。	96	86
②	毎朝、朝食を食べて登園させている。	88	94
③	メディア（ゲーム、テレビ、スマホなど）について家庭で視聴時間などの約束を決めている。	80	70
④	家庭で、自分のことは自分でさせたり、お手伝いをさせている。	88	81

\*メディアとの付き合い方は、現代の育児において難しい課題ですね。今年度の保護者懇談では、家庭教育支援チームから「メディアはハサミと同じ」というお話をいただきました。  
 2~3歳は大人と一緒に、4~5歳でもまだ一人では持たせない。ハサミと同じように、メディアも段階を踏んだ「練習」なしには危険を伴います。しかし、これからの時代、メディアを使いこなす力は不可欠です。幼児期から、ご家庭と共に正しく安全な「練習」を積み重ねていきたいですね。

今年度も保護者の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

アンケート等で高い評価をいただいた点はさらに充実させ、課題については職員間で共有・協議を重ねてまいります。

子どもたちの主体性や意欲を引き出せるよう、保育の質の向上に努めてまいります。

